



京都大学原子炉実験所 アトムサイエンスフェア 講演会 2017

参加費
無料

日時場所

2017年10月21日(土)

■13:30~16:00 ■熊取交流センター(煉瓦館)「コットンホール」

- 対象：中学生～一般
- 定員：180名(先着順)
- 参加費：無料
- 申込方法：当日会場へお越しください。
- 問合せ先：京都大学原子炉実験所総務掛
TEL:072-451-2300
(受付時間：平日 8:30~17:00)



プログラムなどの詳細は以下のホームページをご覧ください。
<http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/public/asf/>

ご案内図



熊取交流センター(煉瓦館)「コットンホール」
〒590-0415 大阪府泉南郡熊取町五門西1丁目10-1
TEL:072-453-0391

放射線・粒子線治療を支える 医学物理最前線

医学物理学は、120年ほど前のX線の発見、放射性同位体の発見とそれらの医学応用に始まる、物理や工学の知識および成果を医学に利用する学問分野です。図に示すように、医学物理には5つの領域があります。今回のアトムサイエンスフェア講演会では、「放射線・粒子線治療を支える医学物理最前線」という共通テーマで、治療物理学の領域における3つの研究についてわかりやすく紹介します。

がん治療という点では同じですが、がん治療に用いる粒子が異なります。最初の講演では、高エネルギーの陽子をごん細胞に照射する研究の最前線を紹介し、2つめの講演では、高エネルギーの炭素を、最後の講演では、低エネルギーの中性子をごん細胞に照射する研究の最前線を紹介し、いかに効果的にこれらの粒子をごん細胞のみに当ててがん細胞だけを消滅させるかが重要な点です。

講演内容・講師



講演1 放射線治療・陽子線治療を支える医学物理最前線

講師 西尾 禎治
(東京女子医科大学大学院医学研究科教授)



講演2 重粒子線治療を支える医学物理最前線

講師 福田 茂一
(放射線医学総合研究所臨床研究
クラスター放射線品質管理室研究統括)



講演3 ホウ素中性子捕捉療法を支える医学物理最前線

講師 櫻井 良憲
(京都大学原子炉実験所准教授)

